●ご使用後は泥や汚れ等をよく落とし、風通しのよい日陰で十分に乾燥させてから保管してください。汚れのひどい場合は、スポンジ等で水による手洗いをしてください。
●汚れたり濡れたまま保管すると、生地の劣化を早めるばかりか、カビや色落ちの原因となりますので十分注意してください。また定期的にフッ素系の撥水スプレーを塗布すると生地表面の撥水性が持続します。
●ファスナーの泥汚れはファスナー破損の原因となりますので、常にきれいにしてください。定期的にYKKファスナーメイト（シリコンスプレー等）を塗布すると、スライダーの動きがスムーズになります。
●テントポールもよく汚れを落とし乾燥させます。インサート（ジョイント部）への潤滑剤の塗布は絶対にしないでください。インサートの樹脂ストッパーが効かなくなってしまいます。
●生地の破れ、ファスナーの故障、ポールの折損などの修理は弊社にて承ります。その際、製造ナンバーを販売店または弊社にお知らせください。
●次の山行に備え事前に異常や故障を発見するため、メンテナンスの際、テントポール、ファスナー部、張り綱などよく点検してください。

●ご不明な点は販売店、または弊社までお問い合わせください。
●この取扱説明書は仕様改良のため予告なく変更することがあります。

HERITAGE INC.

株式会社ヘリテイジ　〒399-8302　長野県安曇野市穂高北穂高2827-18
☎0263(82)0141　WEB SITE：http://heritage.co.jp

ESPACE SOLO® X
エスパース・ソロ エックス

ESPACE DUO X
エスパース・デュオ エックス

X-TREK™ Fabrics

取扱説明書

ご使用の前に必ずお読みください

ESPACE®

各部名称と説明

A テントパネル
耐水圧は20,000ミリ以上、そして透湿性能は13,500g/m²・24hr以上、さらに防風性、耐摩耗性にも優れたX-TREK™ファブリクスを採用しています。

B ラウンド・ファスナー式入口
O型のラウンドファスナーで大きく開閉しますので、出入りもスムーズです。
冬季には吹き流し入口（オプション）に交換することが可能です。

C 入口ダブルフラップ
入口のファスナーはダブルフラップで守られています。アウターフラップ下部には水抜き穴があり、フラップ内に溜まった水を排出する構造になっています。これにより高い防水性を誇ります。さらにより快適な空間をご希望の場合にはオプションの前室フライをご利用ください。

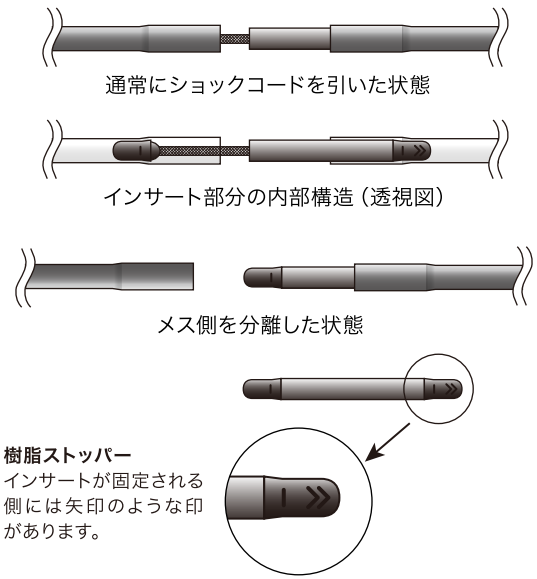
D 張り綱
テントを固定し、耐風性、居住性を高める重要なパーツです。ポールの延長線上でコーナーより約70cmの位置にペグなどで固定してください。

E フルコネクテッド・ポールスリーブ(PAT.)
ポールスリーブ末端まで完全に連結した特殊なポールスリーブは、一方からポールを差し込むだけで簡単、スピーディに設営が完了します。

F アーチ状スリット
このスリットからポールを差し込んだり抜いたりします。

G ベンチレーター
入口パネル上部と後面パネルに設置。入口側はメッシュ付きファスナー開閉式。後面はメッシュ着脱・吹き流し式。テントパネルは結露や凍結などで通気性が悪くなるため、定期的に換気してください。

インディペンデント インサートの構造



ジョイント部分を強く引くとメス側のインサートが分離します。ポール折損の際に工具なしで部分交換が可能になります。さらに強く引くとオス側も分離し、インサート自体が取り外せますので、インサートのみの交換も可能です。

注意！
パイプにインサートが固定される側（ジョイントのオスになる側）の樹脂ストッパーには矢印のような印があります。インサートを装着する際に注意しないとジョイントのオスメスが逆転してしまいますのでご注意ください。またメンテナンスの際にインサート部分への潤滑剤の塗布は絶対にしないでください。

H グランドシート
パネル面までグランドシートが立ち上がり（バスタブ式）、接地面の縫い目を少なくしています。防水地（耐水圧2,000㎜/㎠以上）を使用していますが、地面に接しさらに人の体重が加わるために水がしみることがあります。防水、保温のためにテントマットを必ず使用してください。
また結露を最小限に抑えるために、バスタブの立ち上がりは極力低くしてします。

I テントポール
テントの生命部分ともいえるパーツです。メンテナンスをしっかり行い、山行に合わせて予備パーツなどを携行してください。

J 入口留め具
入口パネルを全開にし、真横に束ねるためのものです。

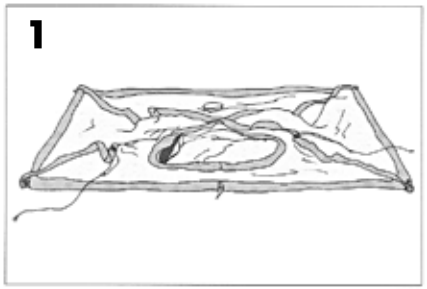
K プラスチック3つ穴自在
テントをしっかり固定する際、張り綱を強く張るためのものです。また撤去の際は、自在を調節すれば簡単にゆるみます。

L ペグループ
このループにペグを通し、地面に打ち込んでバスタブの浮き上がりを防ぎ、グランドシート下への風の巻込みを防ぎます。

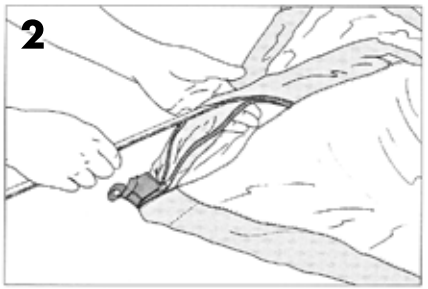
M ペグ
地面に張り綱、ペグループなどを固定するアルミ合金製の杭です。

N フライ接続用バックル
オプションの前室フライやフライシートを取り付けるためのワンタッチバックルです。

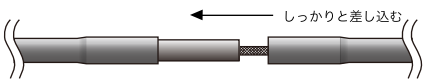
設営方法



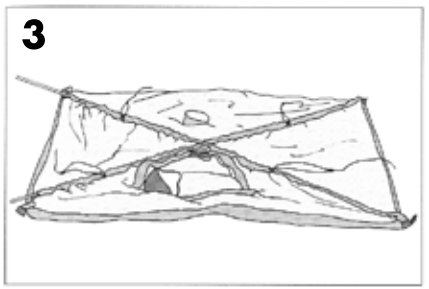
テント本体を広げます。テントを立ち上げた時にテントが膨らむように、入口は半分程開けた状態にしてください。風がある時にはテント室内に風が吹き込まない程度にほんの少しだけ開けます。基本としては入口を風下側に向けます。強風時にはペグでコーナー部分を仮り止めなどして、飛ばされないように十分注意してください。



ポールを一繋ぎに組み合わせ、アーチ状スリットからポールスリーブに差し込みます。どのコーナーからでもかまいませんが、必ずスリットの右側(黄色いテープのある側)からさし込んでください。

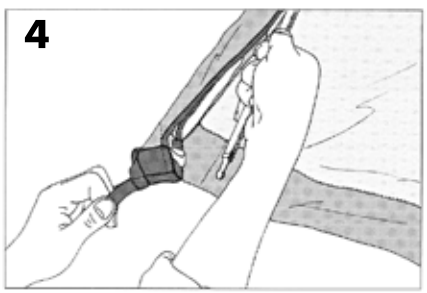


ポールを組み合わせる時には、各接合部(ジョイント)を完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、折損の原因となります。

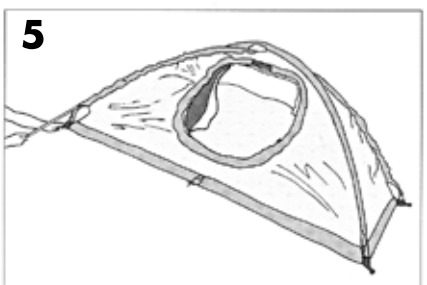


頂点ではポールが交差しますが、もし引っかかった場合は無理に差し込まないで、ポールスリーブ通りに交差させてください。(この際、交差する下側のポールスリーブからポールを通し始めるとスムーズです。ポールスリーブ末端は袋とじになっていますので一気に通します。一気に通さないとスリットからポールが抜け出る場合があります。

⚠ 必ずポール先端がポールスリーブの末端まで行っているか確認してください。



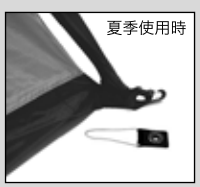
２本目のポールが反対側のポール受けに到達したら、さらに押し込み、湾曲させて手元のポール受けにポール末端をセットしてください。
ポール受けは右側がベルクロで半開しますので、そこからポール末端を差し込んでください。

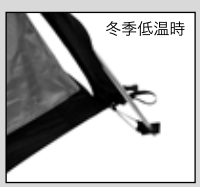


片側のポールをセットし終えたら、同じ手順で残りのポールをセットします。

張り綱は各コーナーからポールの対角線の延長上、約70cm離れた付近にしっかりとペグで固定します。

●冬季低温下での設営注意点





低温下での設営の際、テントパネルの生地が収縮し、ポールエンドを袋状ポール受けにきつくて差し込めない場合があります。その場合には、各コーナーに付属している緊急用グロメットにポールエンドを差し込んでセットしてください。
夏季使用時など、緊急用グロメットが不要な場合には取り外しが可能です。

専用オプション

吹き流し式入口

ソロ／デュオ共通 ¥11,130 (本体¥10,600)
(0.24kg)

ファスナーが凍結して開閉が困難になる冬季に装着する吹き流し式の入口です。2段絞りの吹き流しは中絞りから内側(本体側)がX-TREK™ファブリクスなので雪山での降雨にも対応します。

取り付け方法

テント本体の入口パネルは、ファスナーのスライダーを2つとも全開させると外すことができます。外し終えたら、吹き流しを取り付けます。その際、奥側(テント内側)のファスナースライダーから差し込むとスムーズにセットできます。

前室フライ

ソロ用(0.25kg) ¥7,980(本体¥7,600)
デュオ用(0.31kg) ¥9,870(本体¥9,400)

入口部分の防水性がより高まり、出入りの際テント内部への雨の侵入を防ぎます。前室スペースも確保され、降雨時にいっそう快適に使用できます。

●フライシート

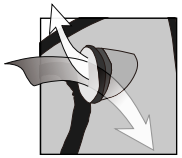
さらに高い防水性をご希望の場合、ソロ、デュオ用のフライシートを装着することも可能です。

ソロ用(0.48kg) ¥12,600(本体¥12,000)
デュオ用(0.54kg) ¥15,330(本体¥14,600)

注意事項 ⚠

火気厳禁

テント室内でのコンロ、ランタン等の火器は絶対に使用しないでください。テント室内は限られた空間のため火器を使用すると、火災発生の恐れや一酸化炭素中毒の恐れもあり非常に危険です。やむを得ず使用する場合は、必ず入口、ベンチレーターを開けて常に換気してください。またテントの生地は可燃性素材ですから、火器はテントパネルから十分に遠ざけ火災に注意してください。



換気必要

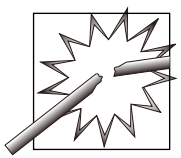
テントパネルの X-TREK™ ファブリクスは防水・透湿機能に通気性を兼ね備えた素材です。しかし、通気性に関しては、他の各種エスパースのテントパネル素材より劣っています。そのため、常にベンチレーターを開けるなどして換気をしてください。降雨時や結露時、また低温下で凍結した時など、通気性能がさらに低下する条件では特に換気が必要になります。

張り綱の取り扱い

このテントに付属している張り綱は外皮にポリエステル、中芯にダイニーマを使用しているため、軽量で強度（約100kgf）も保持しています。しかし、従来の張り綱より径が細いので、自在を急激にスライドさせますと手を火傷したり自在を破損させる原因となります。張り綱を張る際は岩角などに触れないように張ってください。摩耗により切断しますので十分注意してください。ペグなどを打てなくて岩石を利用する際は、直接張り綱を岩石に結ばずに別のロープ等を利用してください。

積雪期の使用について

エスパース・ソロ エックス、デュオ エックスは防水機能を重視した構造のため、内張りの併用ができません。強い防風性はありますが、内張りを併用した冬季仕様のエスパースと比べると、厳冬期には保温性が劣ります。また入口ファスナーの凍結を避けるため、オプションの取り付け式、吹き流し入口をご使用ください。

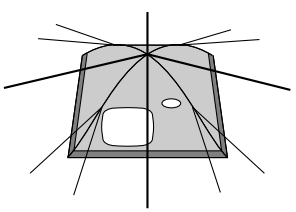


破損時には（スペアポール、スペアインサート、応急処置品の携行）

テントポールは悪天候や不測の事態などで折れることがあります。ソロ、デュオに採用しているウルトラライトポールはポールラインを簡単に分離できますのでポール修理が容易です。ラインの分離方法は前ページをご確認ください。
生地が破れた時には、ガムテープなどで両面から張り合わせて応急処置をしてください。山行日程に合わせて、スペアポール、スペアインサート、予備の張り綱などを携行してください。

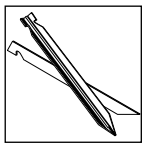
悪天候・強風時には

悪天候が予想される時には早急に下山する事が安全登山の鉄則ですが、万が一悪天候にみまわれた時には、各張り綱がしっかりと固定されているかを再点検してください。烈風時には補助ロープを利用して、テント頂点のポール交差部からテントパネル側に張り綱を追加し固定してください。また、張り綱を一カ所からＶ字形に２本張ると効果的です。



テントを乾かす時

グランドシート下側を乾かすために、ポールをセットした状態でテント本体を逆さまにしないでください。ポールスリーブやテントパネルが地面と擦れ生地の劣化を早め、またポール折損の原因ともなります。



購入後の付属品の確認

テントやパーツの製造、販売には十分注意していますが、ご購入後は必ず山行前に試し張りをしてください。その際、付属品の数、ポールサイズ、設営具合などをご確認ください。また、テントの設営は繰り返し練習の上、実際の山行に備えてください。

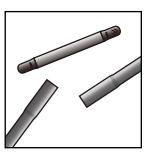
	ペグ	張り綱	スペアポール
ソロ エックス	8本	4本	1本
デュオ エックス	8本	4本	1本

防水コーティングの劣化（加水分解）

グランドシートやフライシートの防水コーティングに使用しているポリウレタン樹脂は、ご使用にならなくても、徐々にポリウレタン樹脂が劣化してボロボロになったりベタ付きが発生します。これは、ポリウレタン樹脂が空気中の水分、気温（熱）等の影響で次第に劣化していく化学反応（加水分解）によるものです。
加水分解は、一般的に 5〜7年をめやすとして進行し、復元させることは不可能です。
使用、保管方法によっては劣化が早まりますので、ご使用後にはメンテナンスを行ない、直射日光を避け、高温、多湿にならない場所で保管し、時々広げて乾燥してください。

製造ナンバー

アフターサービスのため、製造ナンバー（テントバッグとテント室内に表示）により、ポールサイズ、パーツ類を管理しています。修理のご依頼、予備ポールやパーツのご購入の際は、必ず製造ナンバーを販売店にお知らせください。



インディペンデントインサート

設営時のポールジョイントの接続は確実に行ってください。インサートの差し込みが不完全な状態で設営するとポール折損の原因となります。
また、インディペンデントインサートは濡れたり凍ったりすると支持力（固定力）が弱まり、抜けやすくなることがあります。雨天時や低温下ではポールをたたむ際にインサートの紛失には十分にご注意ください。乾燥すれば支持力は復元します。
インサートの分離を頻繁に行うと樹脂ストッパーが摩耗してしまい、固定力が弱まり抜けやすくなってしまいます。インサートの分離は修理など緊急時のみに行ってください。